

☆視 点

中国化繊業界の現状と将来発展策

2012年9月6、7日、中国・浙江省粛山にて、第18回中国国際化繊会議が開催された。同会議は、中国繊維業界、化繊業界の首脳、地元政府関係者、学者、研究機関の代表など約600名が参加し、「高コスト時代の中国化繊産業の持続的な発展」をテーマに議論が行われた。

会議初日のキーノートスピーチは、中国紡織工業連合会・許名誉会長が行い、中国の繊維産業/化繊産業がこれまでの高成長時代から、高コスト時代を迎え転換期に入り新たな戦略の転換が求められていること、その課題、対応策について以下の通り説明があった。

2011年の中国の繊維業界は、欧州など外需の落ち込み、原料価格の乱高下などの問題があったものの、全体的に繊維業界、化繊業界とも、比較的良好な景況であった。しかし、2012年入ると、輸出減速、人件費などコスト上昇など、各種の圧力が強まり、生産・販売が減速、収益が悪化し、繊維業界は調整段階に入った。

表1 2011年、2012年上半期の中国の繊維産業の主要指標

	単位	2011年	前年比	2012年 1-6月	前年 同期比
繊維企業数	万社	3.59		3.68	-
赤字企業の比率	%	9.8	-	18.4	-
うち化繊企業		13.4	-	32.1	-
繊維工業総生産額	億元	54,787	26.8	25,738	9.7
うち化繊産業	億元	6,380	31.2	3,131	6.3
繊維企業の利益総額	億元	2,956	25.9	1,148	-1.9
うち化繊企業	億元	-	-	73	-52.3
繊維産業実際完成投資額	億元	6,799	36.3	3,404	15.2
うち化繊産業	億元	734	22.3	378	24.9
繊維品輸出額	億元	9,160	15.3	4,107	1.0
繊維産業就業人数	万人	1,026	5.6	965	-1.3

(注) 対象は規模以上企業 (国有企業と年間売上が2000万元以上の非国有企業)

表2 中国の主要繊維生産

	単位	2011 年年間		2012 年 1-6 月	
		実績	前年比 (%)	実績	前年比 (%)
化学繊維	万トン	3,362	13.9	1,884	14.6
紡績糸	万トン	2,894	12.4	1,508	13.2
織物	億疋	620	11.6	300	11.7
不織布	万トン	185	14.7	113	23.8
衣類	億点	254	8.1	125	7.7

中国の化繊産業は、現在、世界の化繊生産の6割以上を占めるまでに急成長している一方、第十二次五か年計画（2011-15年）に沿った形での産業構造の調整も進んでいる。

表3 中国化繊産業の構造調整に関する指標例

産業用繊維の生産	2011年は910.2万トン（前年比10.8%増） 繊維加工総量の21.1%を占める
用途別化繊ミル消費	衣類：家庭：産業＝50：29：21（2011年） （2010年は51：29：20）
化繊の差別化比率	2011年は50%（前年比4ポイント上昇）
化繊産業の労働生産率	2011年は144万元/人（前年比22.6%増） 2012年上半期は3.7%増の149万元/人
繊維品輸出単価	2011年は前年比19.3%上昇 2012年上半期は3.2%増 …輸出品の付加価値上昇を反映

しかし、中国の化繊産業は、依然として「大きいが強くない」、「急速な発展とともに構造問題が蓄積している」状況にあり、同質化が深刻であること、産業付加価値が低く研究開発力が弱いこと、ハイテク繊維の基礎がなく、産業チェーンの優位性が活かしていないこと等の問題点を抱えている。

こうした点を踏まえ、中国の繊維産業の将来の発展の方向として、繊維業界における「第十二次五か年計画（2011～15年）発展計画」が制定されたが、同年、中国紡織工業連合会は「紡織強国建設綱要」を発表、

2020 年までの繊維業界の持続的な発展を確保するための、構造調整の任務と目標を示した。そのポイントは以下の通り。

- ① 技術革新の加速化によるコアな産業競争力の強化：高性能繊維/同織物/同製品を中心に技術開発を進め、こうした技術開発の成果を中小企業まで波及させ、業界全体の技術水準の向上を図る。その結果、2015 年までに年平均 10%以上労働生産性を高める。
- ② 自主ブランド構築強化：市場の需要の変化に対応し、国際的な影響力を持つ自主ブランドの育成を進める。ブランド価値を高め、自主ブランド製品の輸出比率を 25%まで上昇させる。
- ③ 低炭素・循環型経済の発展：クリーン生産の技術、汚染物質管理技術、資源の再生利用技術の研究開発を強化する。2015 年までに、繊維産業の単位当たりエネルギー消費を 20%、繊維産業における二酸化炭素排出量を 20%、水使用量を 30%引き下げる。リサイクルシステムを強化し、再生（リサイクル）繊維の生産を 800 万ト、繊維加工総量の 15%以上とする。
- ④ 適切な産業分布と資源配置：中西部の繊維産業の一層の発展を図る
- ⑤ 人材育成を強化する。

化繊産業は、繊維産業の持続的な発展を確実なものにするため、素材供給という点で重要である。化繊産業の現状と直面している課題・問題は以下の通り。

- ① 化繊需要は今後も拡大：中国では、農村部を中心に衣料内需のさらなる量的拡大が期待されるほか、衣料以外の新用途での需要拡大が進む見通し。中国では、資源制約問題から、天然繊維に対して化繊需要の伸びる余地が大きい。
- ② 産業構造の発展に伴う新材料/新素材開発の加速：中国では、今後、IT 産業、精密機械、化学工業などの産業発展が予測されており、こうした新産業に対して、素材供給業界という立場で、新素材の研究開発を進めることが重要。
- ③ 低炭素社会の促進：石油由来の化繊原料の節約、リサイクルの進展を化繊業界だけでなく、繊維産業全体で取り組むとともに、再生可能資源による新型繊維の開発を進めることが重要。
- ④ コスト上昇圧力の高まり：中国経済の発展に伴い、生産コストは持続的に上昇、特に労務コストの大幅上昇が伝統的な繊維産業に大きな影響をもたらした。繊維企業の平均賃金は、2007 年から 2012 年の 5 年間に年率 15%以上上昇、原燃料価格はここ 2 年年平均 10%以

上昇したことで、中国製繊維製品のコスト優位性は失われつつある。特にコモディティ製品のコスト競争力は失われており、生産効率の向上、製品の付加価値化が求められる。

- ⑤ 需要構造の変化への対応：消費者の需要の変化（多品種・少量生産、差別化品、機能性繊維製品の需要の高まり）に対応した生産体制が求められる。また、繊維の用途は今後、航空・宇宙、新エネルギー、環境保護分野などに拡大する。これら分野では繊維だけでなく複合材料分野との協業も重要となる。中国の繊維産業は産業チェーンが整備されている強みを生かし、繊維産業全体で市場開拓することが重要。

上記のような課題に対応し、化繊産業としての具体的な取り組みとして、以下があげられる。

- ① 重点技術革新：新型化学繊維、機能性繊維の研究開発を強化。ハイエンドな産業用繊維の開発、高性能繊維の開発、複合材料技術の向上によって、新興産業の需要発展に対応する。農業の副産物、海洋生物などの多様な資源を利用した生分解繊維、再生繊維など石油由来繊維に代わる新型繊維の開発を進める。
- ② 用途開拓の推進：化繊の新しい技術開発、製品開発の成果が、効果的に川下分野の製品開発、用途開拓につながるような努力、すなわち、産官学連携や新しい需要領域での異業種、ユーザー業界との共同での研究開発への取り組み、川上～川下の企業連携による開発モデルの促進、化繊企業のブランド強化により、化繊企業は、伝統的な製造産業から、研究開発～マーケティングまで一貫企業へのモデルチェンジを図ることが重要。
- ③ 資源配置の合理化：海外の先進技術を導入、国内の技術水準の向上を進め、多元的な国際市場を開拓、化繊輸出を拡大する。また、優れた国産技術の輸出も促進する。多国籍企業との連携を通じて、海外の石油資源などの利用を高め、原料調達の優位性を高める。国内では東部と中西部の配置を合理化する。
- ④ 近代的な標準化を確立：化繊産業の発展にともない、近代的な業界標準の制定を加速する。また、特に新型繊維、高性能繊維については、積極的に国内の標準を、国際標準につながるよう働きかける。

以上